

# 上智大学

2021年度一般選抜（学部学科試験・共通テスト併用型）

## 学部学科試験サンプル問題

### 神学部 神学科

#### 【学部学科試験名】

キリスト教と聖書の基礎に関する理解力と思考力を問う試験

#### 【試験時間】 75分

#### 【出題の意図、求める力等】

キリスト教に関する基本的な「知識・教養」について問い、「思考力・判断力・表現力」をみる。

#### 【学習における参考資料】

『キリスト教の輪郭』, 百瀬文晃, 女子パウロ会, 1993

『キリスト教に問う 65のQ&A』, 百瀬文晃, 女子パウロ会, 1992

『早わかりキリスト教』, 宮越俊光, 日本実業出版社, 2005

※サンプル問題の出題形式は例であり、問題数は本試験と異なる場合があります。

11 下記 [ ] 内の文章を熟読し、問1～5に答えなさい。

<小見出し A>

イエスの言葉として伝えられているものの中でも、マタイ福音書が「 [ ] ① の説教」としてまとめている言葉は有名です。イエスの思想をよく表現しています。

「心の貧しい人びとは、幸いである、天の国はその人たちのものである。

悲しむ人びとは、幸いである、その人たちは慰められる。

柔和な人びとは、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。

義に飢え渴く人びとは、幸いである、その人たちは満たされる。

あわれみ深い人びとは、幸いである、その人たちはあわれみを受ける。

心の清い人びとは、幸いである、その人たちは神を見る。

[ ] ② を実現する人びとは、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

義のために迫害される人びとは、幸いである、

天の国はその人たちのものである」(マタイ5・3～10)

ここで言われる「心の貧しい」という言葉は、聖書の用語に慣れていないと奇妙に聞こえます。日本語では「心が貧しい」とは、物質的に恵まれていても、精神的に卑しい、教養がない、品位がない、などの悪い意味で用いられるからです。でも、イエスの言う意味はそうではなく、自分の貧しさをよく知っていて、すべてを神に仰ぐこと、能力や地位や人間関係などを頼りにして自分の幸福を築こうとするのではなく、すべての希望を神にかけることです。また、ここで「天の国」と言われるのは、ときどき誤解されるように、死んだ後で入れてもらう「 [ ] ③ 」とか「極楽」のことではありません。マタイ福音書のくせで、「神」のことを「天」と呼びます。これは「神の国」のことで、私たちは人生のまっただ中に打ち建てられるべき神の [ ] ④ のことを言っています。

人間はつい、財産や地位を追い求めて、自分の安住と小さな幸せを築きあげようとしてあくせくとしています。ともすれば、富や名誉などを最高の価値とし、自分の造りあげた [ ] ⑤ をいちばん大切にしています。言い換えれば、これは自分自身を世界の中心に据える生き方です。しかし、イエスはこのような世俗の価値観をひっくりかえすようなことを語りました。イエスの教える生き方は、神を中心にする生き方です。

世俗の価値観が支配しているところで、すべてを神に仰ぐ生き方をしようとするならば、 [ ] ⑥ では損をするかもしれません。けれども、その人びとにおいて神の国が実現します。たとえ [ ] ⑥ で悲しい思いをさせられたとしても、その人びとは神の前で真の慰めを見いだします。神への忠実のゆえに、安住の地を追われたとしても、これを耐えて、決して悪をもって悪に報いるようなことをしない人びとは、神の国が到来するときに、約束の地を受け継ぎます。権力者にゴマをすったり、袖の下に差し入れをしたり、上手な外交手段で自分の身を利するのではなく、神の正しい裁きが行われることのみを信じて、待ち望む人たちは、神の国が [ ] ⑦ するときに、満ち足りた幸せ、真の喜びを見いだします。そのようにイエスは教えました。

## <小見出し B>

マタイ福音書が伝える [ ① ] の説教からも一つ、神がどのようなかたであるかを語る、イエスの言葉を味わっておきましょう。

「自分のいのちのことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分のからだのことで何を着ようかと思ひ悩むな。いのちは食べ物よりも大切であり、からだは衣服よりも大切ではないか。空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか」

(マタイ 6・25～30)

イエスが説教したガリラヤ湖畔は、今でも青い水と夕日に映える対岸の岩山を背景にして、野の花があちこちに咲いています。鳥たちが灌木の茂みでさえずっています。イエスはこの大自然の中で育ち、その美しさをこよなく愛したのでしょう。そこには、神の恵みに生かされる者の素朴な喜びがあります。どんなにお金をかけて衣服や住居を飾りたてても、野辺に咲く草花の美しさには優らない、とイエスは言います。父なる神は森羅万象をお造りになり、その一つひとつを心にかけておられるかたです。野のゆり、空の鳥のように、神の恵みにいっぱいこたえて生きよ、とイエスは人びとに呼びかけました。

富や名誉を追い求める虚しいあがきと、 [ ⑤ ] への隷属状態から自由になること、そして神のほからいにすべてをゆだねること、この考え方は日本人の宗教心に、あい通じるものがあるかも知れません。日本人は古来、自然を愛し、野辺に咲く一輪の草花にも、そこに自分を超越するもののはからいを感じることのできる、繊細な心をもった民族だからです。それに、日本文化に深く影響を及ぼした仏教の教えは、あらゆる煩惱からの解脱を説き、世の無常を達観して虚心坦懐に生きることを理想としています。しかし、イエスの教えが仏教と違う根本的な点の一つは、 [ ⑧ ] 信仰にあります。つまり、この世界がたまたま偶然に存在しているというのではなく、世界をお造りになった神によって望まれたから存在している、と考えるのです。

人間はだれしも、自分が生きているのはなぜなのか、自分がここに存在していることにどのような意味があるのか、と問います。真摯に生きようとするかぎり、人間はだれしも、そのように問わざるをえません。そのような問いに対して、さまざまな哲学思想や宗教が、それぞれ答えを与えていると思います。イエスは、イスラエル民族の太古からの信仰の [ ⑨ ] に基づいて、人間が生きているのは、創造主である神によって造られたからなのだ、と教えています。神が一人ひとりの人間を、その名をもって無から存在に呼びだされたのだ、と教えています。それは、神がご自分のいのちにあずからせるためでした。そして、神は人間の心に、ご自分への憧れを植えつけられました。だから、人間はどのようなときにも、究極的には神において安らぐまで、真の安らぎを知りません。

野の花、空の鳥は、この創造主への憧れに目覚めさせます。私たちは神に向けて造られているのであって、神以外のどのようなものを追い求めても、決して心が満たされるものではありません。この神に向けて生きる時にこそ、真の心の喜びを見いだします。これは、人生の意味を問う人間に対する、一つの答えです。神を信じる人は、この答えに自分を賭ける、ということが出来ます。なるほど、人生の意味などあえて問わない、という生き方もできるかもしれません。それは、一つの生き方の選択です。いずれにせよ、人間は自分の生き方を選択せざるをえません。創造主である神を信じるのも、一つの生き方の選択です。そして、ひとたび神を信じるという選択をすると、その人の生き方が変わります。自分の人生に意味を与えるのは、決して自分の達成する成功とか実績ではなく、財産でも地位でもなく、神のいのちに

**⑩** することなのだ、富や名誉ではなく神の愛こそ最高の価値なのだと思った瞬間に、この人の生き方が変わってきます。イエスが説いたのは、このことでした。

(百瀬文晃著『キリスト教の輪郭』〔女子パウロ会、1993年〕より)

問1 「マタイ福音書」は『新約聖書』に含まれている四福音書の一つですが、そもそも福音書とはどのような文書 **①** ですか、また、マタイ福音書以外の三つの福音書とは何と何と何 **②** ですか。

解答欄：**①**福音書とは「\_\_\_\_\_」文書である。  
**②**「\_\_\_\_\_福音書」と「\_\_\_\_\_福音書」と「\_\_\_\_\_福音書」の3つです。

問2 上記 **①** ~ **⑩** に最適の語を下記〔語群〕から選びなさい。  
〔語群〕 **①**平和、天国、偶像、世間、伝統、創造、参与、完成、支配、山上

解答欄：

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問3 前半と後半から成る上記文章は“イエスの教え”の要点を二つ挙げています。二つの部分（前半、後半）に小見出しを付けなさい。

解答欄： <小見出し A>として、<\_\_\_\_\_>  
<小見出し B>として、<\_\_\_\_\_>

問4 上記“イエスの教え”を彷彿とさせる人物に心当たりはありますか。それは誰ですか、また、その理由は何ですか。

解答欄： 心当たりの人物の名前は「\_\_\_\_\_」です。  
その理由は「\_\_\_\_\_」です。

問5 二重線が施されている二つの句——「日本人の宗教心」と「人生の意味などあえて問わない、という生き方」——はどのような関係にあると考えますか。200字以内で述べなさい。

解答欄：
